



令和5年度 憲法週間行事

『裁判所の役割と裁判官・書記官のやりがい』

千葉地裁 出前講義

千葉大学法政経学部一年生の皆様に、『裁判所の役割と裁判官・書記官のやりがい』というテーマで、出前講義を行いました。

講義では、裁判員制度の概要、民事裁判手続のデジタル化、裁判官・裁判所書記官の仕事とそのやりがいについてお話ししました。

講義内容のうち、代表的な部分をご紹介します。

【裁判所の役割について】

「裁判所の判断は国民の権利義務に大きな影響を与えますが、その判断を信頼してもらうには、国民の信頼が不可欠です。裁判所は、国会や内閣のように国民的基盤を持つていないだけに、裁判所としては、国民の信頼を確保するために日々努力しています。必要があると考えています。」

【裁判官・書記官の仕事】

「裁判官も悩むし、相談する。コミュニケーションが重要な仕事で、一人だけでやる仕事じゃない。」

「書記官には固有の権限があり、裁判官も代わりがでない法律の専門職です。」

「裁判官と書記官はパートナーとして協働関係を築き、チームワークで事件対応にあたっています。」



千葉地方裁判所
民事第1部
坪井 書記官

書記官は、
事件の解決に貢献する
司法手続の担い手



Q. 書記官のやりがいを教えてください。

A. 窓口等の手続説明の際に納得してもらったときや、裁判官と協働して事件の解決に貢献できたときにやりがいを感じます。

Q. 書記官になるには、司法試験を受ける必要がありますか。

A. ありません。書記官は裁判所職員採用試験(公務員試験)に合格して裁判所事務官になった後、裁判所の内部試験に合格し、養成課程を修了すると任官できます。

Q. 学生の皆さんにメッセージをお願いします。

A. 書記官の仕事はとても重要でやりがいのある仕事です。書記官の存在や仕事を知っていただけたら嬉しいです。

千葉地方裁判所
民事第2部
松岡 裁判官

事件は、刻々と姿を変えていく
一件一件に向き合って、一番良い
解決方法を見つけていく



Q. 裁判官のやりがいを教えてください。

A. 一つ一つの事件に真摯に取り組み、解決を図ることで、社会に貢献できるとともに、自分自身の成長も感じられるところなどです。

Q. 裁判官をいつから目指そうと思いましたか。

A. 司法修習からです。司法修習では、裁判官と事件のことを含め様々な話ができ、裁判官の仕事を間近に見ることもできます。

Q. 学生の皆さんにメッセージをお願いします。

A. 裁判や裁判官を少しでも身近に感じてもらうことができたでしょうか。これからも裁判や裁判官の仕事に興味を持ち続けてもらえると嬉しいです。

千葉地方裁判所
刑事第5部
ふけ 福家 裁判官

司法は社会にとって
なくてはならないもの
裁判所のことを
身近に思っていてほしい



Q. 学生の皆さんにメッセージをお願いします。

A. 皆さんは裁判や裁判所について、冷たいイメージを持っていらっしゃるかもしれません。しかし、裁判手続ではチームワークが重要で、裁判所は温かい職場だと思います。

書記官とのチームワークはもちろんのこと、検察官や弁護人とよく話し合わなければ手続は進められませんし、裁判員裁判では、裁判員と裁判官がワンチームになって、知恵や経験を出し合うことで、より納得性の高い判断をしていきたいと考えています。

皆さんとも、裁判員や法律家として意見交換したいと思いますので、お待ちしております！

裁判所の 『出前講義』 とは

現役の裁判官・裁判所書記官が、
千葉県内の学校や職場にお伺いし、
裁判員裁判の現状や裁判所の仕事をお話します



対象地域：

千葉県内

費用：無料



『今度、法廷傍聴
に行こうと思った。』

『裁判員に精神的負担がないように相談窓口があった
り、法律知識がなくてもサポートしてもらえることが、
講義を聞いてよくわかった。』



「書記官は円滑な裁判
の実現に欠かせない存在
だとわかった。」

お問合せ先

千葉地方裁判所

総務課広報係

TEL:043-333-5238



出前講義の詳細・申込方法は、
千葉地方裁判所ウェブサイトから→

【アンケートでいただいたご意見を紹介します】

【裁判官・書記官の仕事について】

- ・裁判官・書記官の仕事について、「自分が成長し続けられる仕事」だという話があったが、『人生』を念頭においたとき、とても魅力的なのでは、と率直に思いました。
- ・和解について語る松岡裁判官の話を聞いて、当事者間の最も良い形での解決のために寄り添って対応されていることが分かりました。
- ・書記官という仕事は今回初めて知りました。裁判官の方が有名だけど、手続のプロである書記官の仕事に私は興味を持ちました。
- ・ドラマなどで見る裁判官は一人で事件を背負うイメージでしたが、コミュニケーションを大事にしているというお話を聞いて、驚きました。
- ・裁判所で働く方の仕事内容について説明を聞いて、今まで考えになかった裁判所で働くという選択肢もいいのではないかと思えました。

【民事裁判手続のデジタル化について】

- ・裁判所を利用したことがなく、利用のハードルが高いと考えていましたが、今後徐々にオンライン化されることで利用のハードルが下がり、裁判所がより利用しやすい身近な存在になっていくんだろうと思えました。

【裁判所の役割について】

- ・国民の信頼を得るために努力する、裁判所は法の支配を実現するために必要な存在、といった言葉が印象に残った。
- ・専門性の高い職種であっても、国民との関係性を重視し、国民のための裁判を目指そうとする姿勢にととても感心しました。